

## 【生活を守る社会】 持続的な社会基盤の構築： ディーセントワークの実現

### 現状と課題

- アフリカ地域の就労人口は、経済成長に伴う労働需要を上回る速度で増加している。今後、生産年齢人口は7.05億人(2018年)から約10億人(2030年)に急増することが見込まれており、2050年には世界の新規就労人口の過半数をアフリカ諸国が占めるとされる。
- 若年層、高学歴層、女性の多くは、都市部を中心に失業状態や短時間労働を余儀なくされており、人々の就業機会やポテンシャルが活用されにくい環境にある。近年は、経済成長が進む中であっても雇用が促進されず、貧困率が悪化する「雇用なき成長」が課題となっている。
- 加えて、若年層の雇用機会不足が「アラブの春」等の社会不安につながっており、またCOVID-19により経済・雇用環境が更に悪化、3,000万人相当の雇用が失われるリスクに直面している中、人々が働き甲斐のある仕事が行える「ディーセント・ワーク」の実現は重要課題。

### 今後の取り組み方針

- **全般：** 労働需要の量的拡大に向けた環境改善、企業にとって投資障壁の一つとなっている低い労働生産性・スキルミスマッチの改善、労働者の権利の保護の推進や、アフリカ諸国における社会保障制度の拡充にかかる取り組みを推進する。
- **プラットフォームとしての取り組み：** 他ドナー、民間企業連携(企業がディーセントワークを推進する際の側面支援、人材育成にかかる企業連携推進等)を通じて、ディーセントワークの実現を通じた強靱な社会・人間の安全保障へ貢献する。
- **JICAとしての取り組み：** 産業構造転換、COVID-19の脅威等、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の高い時代において、各人が能力及び特性に応じて職業を選択し、経済活動に参加する主体として自ら人生を切り拓いていく(「Lead the Self」)ため、以下の実現に向けて人材育成及び環境整備に貢献する。
  - ・ 包括的な起業支援を通じた雇用促進、起業促進及び多様な層の経済活動への参画促進
  - ・ 生涯を通じた途切れない学びの実現による能力向上
  - ・ 働く人々の権利、社会保障、社会対話の保証

#### ①雇用促進・起業促進：

- ✓ 包括的企業支援(カイゼン2.0、Business Development Service、金融アクセス支援、エンployヤビリティ強化、ジェンダー視点等)
- ✓ イノベーションのための起業家支援(Project NINJA、Home Grown Solutions)
- ✓ 産業振興(特定成長産業振興促進、開発政策借款・TSL等活用)

#### ③労働者の権利の保護：

- ✓ 労働安全衛生主流化・実践
- ✓ 障害者を含む脆弱層の社会保障・保護
- ✓ ビジネスと人権(児童労働フリーゾーン普及展開等)

#### ②質の高い教育・訓練の推進(基礎教育、高等教育、職業訓練)：

- ✓ 学習の継続の保証(遠隔教育、速習プログラム、みんなの学校アプローチに基づくコミュニティによるサポート)
- ✓ 女子就学促進
- ✓ 日本式アプローチ(日本式教育・カイゼン)の普及による非認知スキルの向上、エンployヤビリティ強化
- ✓ 教科書・教材開発を通じた学びの改善
- ✓ TVET拠点の基盤強化
- ✓ 拠点大学(汎アフリカ大学基礎科学・技術・イノベーション学院(PAUSTI)、エジプト・日本科学技術大学)強化・ジョブマッチング促進



### 貢献する SDGs



## 【生活を守る社会】 持続的な社会基盤の構築： ディーセントワークの実現

### これまでのJICAの取り組み



マダガスカルみんなの学校プロジェクト。  
JICAは初等教育のプロジェクト等により質の高い教育を支援。



日本から大学教員を派遣し、エジプト・日本科学技術大学(E-JUST)の学生に技術指導。アフリカ留学生の受け入れ支援も実施。



ガーナ政府による児童労働フリーゾーン・ガイドラインの発表式典。JICAとともに、日本のNGO(ACE)、コンサルタント(デロイトトーマツ コンサルティング)がガイドライン策定を技術支援。



南アフリカ「障害者のエンパワメントと障害主流化促進プロジェクト」において、障害者のピアカウンセラー人材育成研修で障害をもった行政官が自身の経験について共有。



アフリカカイゼン年次総会を開催し、製造業等の品質/生産性向上に資するカイゼンアプローチにかかるアフリカ域内等の知見共有を支援。